

科 目 名		学年	
国語Ⅳ : Japanese IV		4E	
教員名	畠村 学 : HATAMURA Manabu		
単位	授業時間	科目区分	授業形態
1	100分×15回	必修	講義・後期 ○
授業概要	<p>漢詩を素材として、プレゼンテーション力を身につけるための授業を演習形式で行う。本授業を通じて、読む力・書く力・話す力・聞く力を修得する。</p> <p>学生全員が、プレゼンテーションと司会を1回ずつ行う。1人で1首担当する。発表時間は1人10分+質疑応答の時間。1回の授業で3~4人が担当する。</p> <p>上記以外に、プレゼンテーション力を習得するための、図解、スピーチなども適宜行う。</p>		
到達目標		評価方法	
①発表者として、収拾した資料を参考に漢詩を読み解き、考察のテーマを決める 聽き手としては、他の資料を読み発表内容及び考察のポイントを理解する。(読む力) ②レジュメを作成する。見やすさ分かりやすさを考慮し資料を作る。4段構成で考察を書く。(書く力) ③時間配分を考えながら発表の手順を決める。聴衆を意識した話し方をする。 ④質問を資料にメモしながら発表を聴く。発表を評価する。本質的具体的な質問やコメントをする。(聞く力)		①プレゼンテーション: 学生評価、教員評価(発表の態度、資料の完成度)、②定期試験、③レポート・自学自習の記録により評価する。学期末最終評価は、①40%、②40%、③20%とする。	
学習・教育目標	G①	JABEE基準1(2)	(f)
回	項目	内 容	
授業計画	第1 ガイダンス①	プrezentationとは何か、プレゼンテーションの必要性、その方法を説明する。また、プレゼンテーションの聞き方、質問の仕方(態度、レベルの高い質問等)について説明する。 資料の作成方法を説明する。説得力ある資料を作るために、図解の手法を学ぶ。また、過去に行われたプレゼンテーション資料をもとに、優れた資料がどのようなものか理解する。	
	第2 ガイダンス②		
	第3 プrezen①		
	第4 プrezen②		
	第5 プrezen③		
	第6 プrezen④	プrezentationは、次のような手順で行う。 ○各自、漢詩1首を所定の日までに選ぶ。詩と合わせて、プレゼンの司会をしてもらうパートナーも自分で決める。	
	第7 プrezen⑤	○自分がプレゼンを行う日(担当日)の前日までに、A4用紙×4枚の資料を完成させる。	
	第8 プrezen⑥	○資料には、漢詩の本文、書き下し文、口語訳、語釈、詩人の紹介、詩題の解説、考察を行う。考察には、考察内容をわかりやすくまとめた図解資料を掲載する。	
	第9 プrezen⑦	○聴く側の学生は、プレゼン後に質問する。質問の内容やレベルは「聞く力」の評価の対象となる。また、「審査用紙」を用いてプレゼンテーションの態度や資料の内容を審査・評価する。	
	第10 プrezen⑧	○プレゼン終了後、発表者は審査用紙の結果を整理し、「まとめプリント」を作成して次の授業までに提出する。	
	第11 プrezen⑨		
	第12 プrezen⑩	プrezenは毎週3~4名で、全員行う。 この他、プレゼンテーションスキルやコミュニケーションスキルを高めるためのレポート課題を出題する。	
	第13 プrezen⑪		
	第14 プrezen⑫		
	第15 まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。授業アンケートを行う。	
自学自習の内容		自学自習の記録、プレゼン資料の作成、レポートの提出	
関連科目	国語 I 、国語 II 、国語 III		
教科書			
参考書			
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考			